

今年も残り1ヵ月となりました。クリスマスやお正月などお楽しみがいっぱいですね。

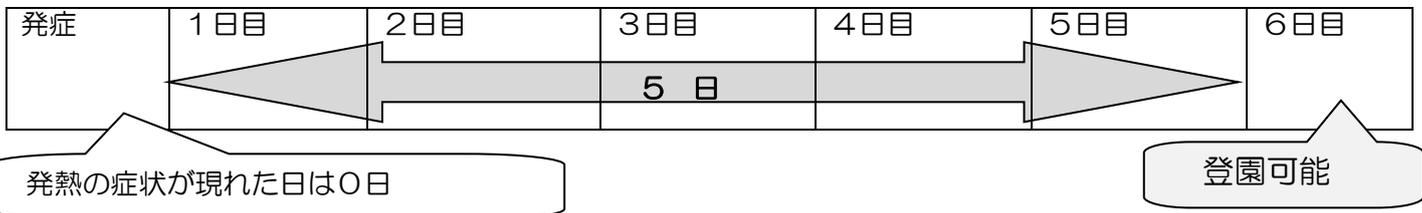
先月、RSウイルス感染症が流行しました。鼻水、咳、発熱等の風邪に似た症状が現れます。小さな子供ほど重症になりやすく、細気管支炎、肺炎などになることもあります。大人や大きい子供もかかりますが軽く済みます。症状がでた際は家族で感染しない様、加湿、うがい、手洗い、マスク等で予防できるとよいですね。

☆道内でインフルエンザの流行が始まっています☆

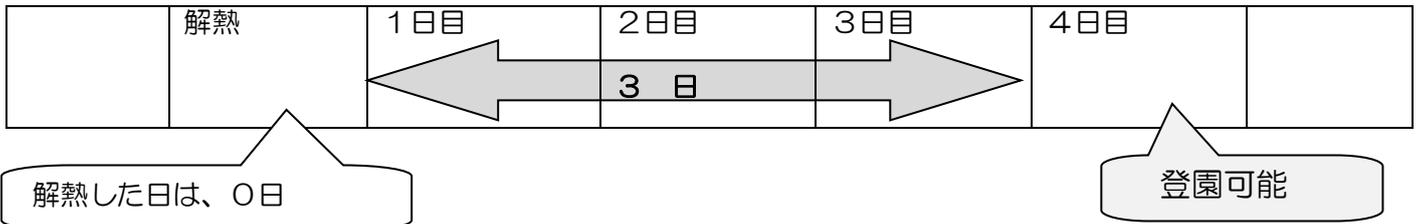
インフルエンザになってしまったら...

出席停止期間は発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまでです。

①



②



※厚生労働省の「保育所における感染症対策ガイドライン」に基づき、上記の①、②の両方が揃わないと、登園することができません。ご理解とご協力をお願いします。

⊕ 家庭でできる予防とケア



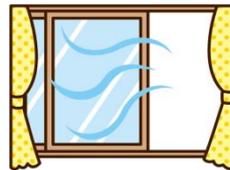
石けんで手洗い
うがい



咳エチケットと
外出先でのマスク



十分な加湿
湿度60%が
目安!



適度に換気し空気の入れ替え
※換気は短めに。低温低湿はウイルスが好む環境になり逆効果です。



発熱時は、動脈の通る、首の付け根や脇の下や足の付け根を冷やします。寒気がある時は保温して、熱が上がりきってから冷やします。

～年末年始の急病・受診について～

年末年始はほとんどの病院が休診となります。お子さまの急な発熱やけがに備え、かかりつけの病院や近くの救急病院の診療時間と休診日は事前に確認しておきましょう。また、帰省先の救急病院の情報も把握しておくことが大切です。夜間救急病院は、あくまでも救急患者さんが優先ですので、少しでも体調が思わしくないと感じたら、日中の病院の診療時間内に早めに受診することをお勧め致します。